

闘虎

Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙
平成17年 春季号



松本篤史(館高)JOCを制する!

JOCジュニアオリンピックカップ

4月23日(土)・24日(日)、横浜文化体育館において「JOCジュニアオリンピックカップ」が行われた。この大会は、ジュニアの部は世界ジュニア選手権、カデットの部はアジアカデット選手権の予選を兼ねており、本県からも精鋭選手が多数参加した。その中で、ジュニアの部グレコローマン60kg級に出場した松本隆太郎(千代田ジュニア一館高一日本大2年)は、優勝候補と目されていたが、決勝で不覚。隣のマットで待機していた松本篤史(千代田ジュニア一館高3年)は、兄のまさかの敗戦を目の当たりにし、いやなムード漂う中の決勝に臨んだ。しかし、冷静さを失わず、針谷監督、卯月コーチの指示どおりの確なレスリングを展開し、見事優勝。7月に茨城県で行われるアジアカデット選手権大会の出場権を獲得した。

◆発行/群馬県レスリング協会会長 兵藤三郎 ◆編集/群馬県レスリング協会広報委員会

クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第2回

大間々レスリングクラブ



3選手が高校へ巣立つ!
先輩が続いてがんばるぞ

大間々レスリングクラブの発足は、今から十七年前。当時大間々中に勤務していた金子淳二さん(現大間々東中教頭)が発足。大間々はもとより、桐生、笠懸、新里など広範囲から子供が集まるようになり、館林近辺に偏りがちな群馬のレスリング分布図をより広げる役目を果たしてきました。クラブの運営が順調になると、大会の開催にも手がかけ、「少年レスリングおおま大会」を開始。今年はその第十回目の記念大会でした。その記念大会では、中学生の部で団体優勝。そのメンバーのうち鹿沼正史(西邑楽)、津金沢千尋(太田商)、神山直人(同)の3人が高校でレスリングを続け、高校での活躍が期待されます。大間々クラブの活動も実に多彩。昨夏は米国ウイスコン州チームと交流を図り、特別ゲストにデストロイヤーも訪れ、日米親善試合が大いに盛り上がったそうです。「大学まで続けた選手が大間々に戻ってきて、一緒に指導するのが夢」と語る金子さん。指導の傍ら「ミニレスだより」も発行。それら一つひとつの作業が、大間々レスリングの未来予想図を彩っていくことでしょう。

■練習日時 毎週火、木、土曜日、午後7時～9時(土曜日は午後5時～7時)・大間々東中体育館

SCHEDULE

■関東高校レスリング大会
6月3日(金)～5日(日)
館林市城沼総合体育館

■沼尻直杯全国中学生レスリング選手権大会
6月11日(土)・12日(日)
茨城県スポーツセンター

■インターハイ予選会 兼 全国高校グレコ選手権予選会
6月18日(土)～19日(日)
館林市市民体育館

■日米交流親善試合
7月下旬～8月2日(火)
県内各地

■国民体育大会予選会
7月17日(日)・18日(月)
西邑楽高校体育館



山野潤一さん(館林市・36歳)
「思い出の一葉」

□この写真は昭和61年、私が館林高校3年の岡山インターハイの1枚です。私は前列右から2番目。この大会では、団体戦で中里先輩たちの鹿兒島インターハイ以来の第3位となり、個人戦でも第3位になった思い出深い大会です。当時は光星学院、霞ヶ浦の2大勢力の壁が厚かったのですが、高田裕司先生は本気で打倒光星、打倒霞を考えていました。しかし、あえて目標を高くしたからこそ、毎日厳しい練習にも耐え、その2校以外には負けなかったのだと思います。同級生が集まると、いまだにその話で盛り上がり、尽きることはありません。それも、徹底的にやっていたからこそ、思い出に残っているのでしょう。私は、館高のすぐ近くで接骨院をしています。高校生が来るたびに「今は苦しいだろうけど、がんばれ!」という気持ちを入れて、治療しています。

GOOD めんまの 新鮮レスラー!



鹿沼正史 選手 (西邑楽高校1年)

レスリングを始めたのは小学2年のとき。大間々クラブの金子先生に誘われました。初めはなかなか勝てなかったのが面白くありませんでした。でも小6のとき、全国少年大会で2位になり、悔しい反面、楽しさもわかってきました。高校の目標はインターハイ優勝!ライバルの富塚選手(関学大附高1年)に負けないようにがんばります。

- 【小学3〜4年の部】
- ◇24kg級 早瀬 茜(明和)
 - ◇28kg級 寺田 光輝(太田)
 - ◇33kg級 木村 優太(千代田)
 - ◇4239kg級 浜岡 佑帆(伊勢崎)
 - ◇+kg級 石岩 寛鷹(邑楽)
- 【小学1〜2年の部】
- ◇20kg級 寺田 有輝(太田)
 - ◇24kg級 小島 彩暉(大間々)
 - ◇28kg級 柳谷 参助(太田)
 - ◇+kg級 栗原 夕蒔(〃)
- 【幼年の部】
- ◇17kg級 小野 柊映(〃)
 - ◇21kg級 吉田 祐輝(〃)
 - ◇+21kg級 榎本さくら(邑楽)

米山祥嗣(日体大4年) ユニバーシアード出場!

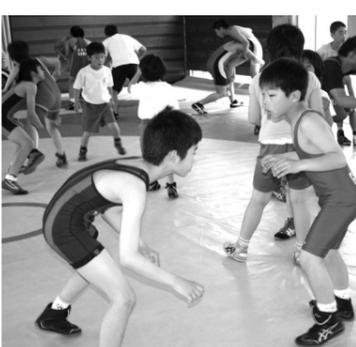
3月31日(木)、国立科学スポーツ



県協会総会で優勝報告した米山

センターにおいて「ユニバーシアード国内予選」が行われ、フリー96kg級で米山祥嗣(館高1日体大)が優勝、学生日本代表として8月にトルコで行われる本戦に出場する。

- 【キッズ小学3・4年】
- ◇26kg級 ③荒川愛奈美(〃)
 - ◇26kg級 ①木村 安里(千代田)
 - ◇36kg級 ③金子 和(〃)
 - ◇+40kg級 ③永井 植生(伊勢崎)
- 【キッズ小学1・2年】
- ◇28kg級 ②鈴木 芽衣(太田)
 - ③阿部 友香(明和)
- 【キッズ小学3・4年】
- ◇32kg級 ②横山 莉加(館林)
 - ◇57kg級 ③渡辺 南美(おおた)



合宿で友達もたくさんできた!

脱落者なく頑張った! 今年もGW強化合宿!



県レスリング協会のメンバーに囲まれて

4月17日(日)、ニューミヤコホテルにおいて、前田猛さんの群馬県体育功労者表彰受賞祝賀会が開かれた。前田猛さんは、一昨年の静岡国体、昨年の埼玉国体の成年監督を務めたが、2年連続で群馬県を上位入賞に導き(静岡で3位、埼玉で7位)、その功績が称えられた。

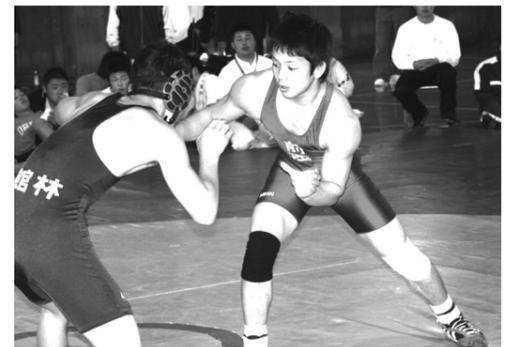
4月29日(金)〜5月1日(日)の3連休を利用して、「ジュニア合同強化合宿」が太田商業高校で行われた。この合宿は、県内6市町のクラブが参加する毎年恒例行事。朝練習は高山神社の石段を駆け上るのがすっかり定着。午後練習は技術練習とスパリングをみっちりこなし、参加者全員が全日程を無事修了した。

前田猛氏県功労者表彰 受賞祝賀会が盛大に!

西脇健紘(前西高) 安定感ある優勝!

群馬県高校総体兼関東大会県予選

5月13日(金)〜15日(日)、館林市民体育館において「第40回群馬県高校総体」が行われた。この大会は団体戦、個人戦があるが、6月に地元・館林市で行われる関東大会の予選も兼ねているため、白熱した試合が展開された。団体戦では、館林高校が全試合危なげのない内容で、4年ぶり27回目の優勝を飾った。個人戦では、関東選抜で第3位に入賞し、成長著しい前橋西高2年の西脇健紘が、フリー、グレコとも安定感のある試合運びで手堅く優勝。関東大会や夏のインターハイに向けて、好調ぶりを



関東大会に期待がかかる西脇健紘

発揮した。個人戦の優勝者は次のとおり。

- 【個人戦フリースタイル】
- ◇50kg級 福田 良太(前西高)
 - ◇55kg級 西脇 健紘(〃)
 - ◇60kg級 増谷 一樹(館林高)
 - ◇66kg級 松本 篤史(〃)
 - ◇74kg級 岡田 啓太(西邑楽高)
 - ◇84kg級 小笠原和広(関学大附高)
 - ◇96kg級 久保田 学(西邑楽高)
 - ◇120kg級 宮田 直規(館林高)
- 【個人戦グレコローマンスタイル】
- ◇50kg級 福田 良太(前西高)
 - ◇55kg級 西脇 健紘(〃)
 - ◇60kg級 関口 文裕(〃)
 - ◇66kg級 松本 篤史(館林高)
 - ◇74kg級 増田 啓佑(関学大附高)
 - ◇84kg級 小笠原和広(〃)
 - ◇96kg級 久保田 学(西邑楽高)
 - ◇120kg級 宮田 直規(館林高)
- 【個人戦女子】
- ◇軽量級 藤本 麻希(太商高)
 - ◇中量級 桐淵 沙織(富実高)
 - ◇重量級 新井 千明(〃)
- 【中学生の部】
- ◇42kg級 樋口 誠治(おおた)
 - ◇47kg級 菊井 悠介(伊勢崎)
 - ◇53kg級 増谷 剛(館林)
 - ◇59kg級 新保 光史(伊勢崎)
 - ◇66kg級 木村 政貴(千代田)
 - ◇73kg級 武藤 駿(〃)
 - ◇+73kg級 津久井光司(太田)
- 【小学5〜6年の部】
- ◇30kg級 木村 安里(千代田)
 - ◇34kg級 金子 和(〃)
 - ◇39kg級 武藤 吹(〃)
 - ◇45kg級 数塚 明登(大間々)
 - ◇51kg級 数塚 尚登(〃)
 - ◇+51kg級 今村 聖(太田)

増谷剛・寺田光輝が獲得 最優秀選手賞(MVP)!

5月14日(土)、城沼総合体育館で「館林市民春季レスリング大会」が行われた。6月の全中、7月の全



仲間に祝福される寺田光輝

少の最前となる大会だけに、選手にとっては意義深い大会。その中で、中学生の部で増谷剛(館林ジュニア)が3月の大間々大会に続きV。小学生の部では寺田光輝(太田倶楽部)が光速レスリングを展開しMVPに輝いた。優勝者は次のとおり。

なごJUNJUNMAのレスクイーン



千代田ジュニアレスリングクラブ
金子和さん(小6)

お兄ちゃん(金子佐くん)の影響でレスリングを始めました。初めは何をやっているのか、さっぱりわかりませんでした。練習を続けていくうちに、だんだんとわかってきました。試合に出ても初めは勝てませんでした。練習を続けていくうちに、勝てるようになりました。今では、レスリングをとてもおもしろいと思っています。一番うれしかったことは、2月の関東甲信越大会で優勝したことです。「初めは勝てなかったけど、あきらめずに続けてよかった」。メダルをもらったとき、そう思いました。これからの目標は、全国大会で優勝することです。